

研究課題名	新型コロナウイルス感染患者検体を用いた抗体価測定
研究の意義・目的	新型コロナウイルス感染患者に抗体が出来ているかどうかを調べます。また、健診を受けられた方がすでに抗体を持っていないかどうかを調べます。抗体の質、すなわち抗体認識部位（エピトープ）を調べることで、ウイルスの防御に重要な中和抗体が出来ているか否かを推定します。さらに、抗体が上昇している血液サンプルは、将来的なヒト用ワクチン臨床試験で抗体が出来ているかどうかを確認するときに活用される予定です。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2022年3月31日 (承認日：2020年8月3日、承認番号：2020-110)
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2019年1月～2019年12月に大阪市立大学医学部附属病院・先端予防医療部附属クリニック MedCity21 において健診/人間ドックを受診され、バイオリポジトリに同意を頂いた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	人間ドックの過程で得られた下記項目と、バイオリポジトリに保存された血液を本研究に使用させていただきます。 試料：【血液】 診療情報：【年齢、性別、受診日、基礎疾患名、健診結果】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関である大阪大学大学院医学系研究科・健康発達医学寄附講座に、頂いた試料・情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	【代表研究機関】研究責任者：大阪大学大学院医学系研究科 健康発達医学寄附講座 中神啓徳 【分担研究機関】大阪市立大学大学院医学研究科先端予防医療学 福本真也 【検体提供機関】大阪市立十三市民病院 呼吸器内科部長 白石 訓 【検体測定機関】大阪大学医学系研究科・微生物学研究所・分子ウイルス分野 松浦義治 同免疫フロンティア研究センター・免疫化学研究室 荒瀬 尚
試料・情報を管理する責任者	大阪大学大学院医学系研究科 健康発達医学寄附講座 中神啓徳
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 現在のところ、本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	(医学および医療に関する問い合わせ) 担当者：福本真也 所属：大阪市立大学大学院医学研究科 先端予防医療学 住所：大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 あべのハルカス 21 階 MedCity21 電話番号：06-6624-4010